



# 横浜市民メディア連絡会10周年記念ミーティング 市民メディアの10年、 これまでと、これから。

横浜市民メディア連絡会が誕生して10年になります。「市民メディア」という言葉が珍しかった10年前から、メディアも、市民活動を取り巻く環境も大きく変わりました。市民メディアの概念自体もだいぶ変化しているのではないのでしょうか？ インターネットを始めとする新しいメディアを市民が主体となって活用して、街づくりなどの市民活動に生かし、参加者の輪を広げようという目的で生まれた「横浜市民メディア連絡会」、今までの10年に私たちは何を手に入れたのか、これからの10年は何が求められているのか考えてみたいと思います。

[記念講演]

## 「横浜の5つ目の外国人墓地を発見！」

特定非営利活動法人 港南歴史協議会理事 長谷川敏雄さん

[基調講演]

## 「市民デジタルアーカイブの動向と意義」

東京都市大学情報メディア学科教授 中村雅子さん

[パネルディスカッション]

## 「市民メディアの10年、 市民メディア連絡会の10年(仮)」

モデレーター：横浜市民メディア連絡会前代表・桜美林大学准教授 和田昌樹

日 時：2012年12月15日(土) 18:00～21:00

会 場：横浜市開港記念会館 2F 9号室

参加費：無料(参加申込は下記をご覧ください)

主 催：横浜市民メディア連絡会



[上] 港南歴史協議会発行の「こうなんの歴史アルバム2」。地図を解析して歴史を読み解く、長谷川さん独特の手法が随所に見られる  
[下] 新しく発見された横浜第5の外国人墓地の写真(長谷川敏雄所蔵)

[交通アクセス]

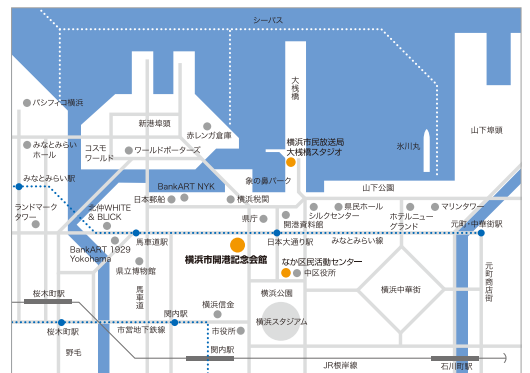
横浜市開港記念会館

〒231-0005 横浜市中区本町1丁目6番地

<http://www.city.yokohama.lg.jp/naka/kaikou/>

みなとみらい線日本大通駅徒歩1分、

JR根岸線・市営地下鉄線関内駅徒歩10分



[お問合せ・参加申込]

(1) 団体名(2) 氏名(3) メールアドレスを記入のうえ、Eメールにて下記までお送りください。

[ycmc.com@gmail.com](mailto:ycmc.com@gmail.com)

横浜市民メディア連絡会

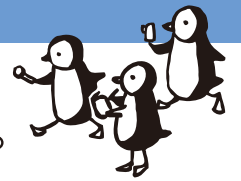
〒231-0021 横浜市中区日本大通34 なか区民活動センター レターケース内

<http://yokohamacmc.wordpress.com>



USTREAM中継  
横浜市民放送局  
Yokohama-TV.com





# 横浜市民メディア連絡会10周年記念ミーティング 市民メディアの10年、これまでと、これから。

2012年12月15日(土) 18:00~21:00 横浜市開港記念会館 2F 9号室

## 1

[記念講演]

### 「横浜の5つ目の外国人墓地を発見！」

特定非営利活動法人 港南歴史協議会理事 **長谷川敏雄**さん

定説だった横浜の4つの外国人墓地に加えてもう一つの外国人墓地が発見されました。地図と写真を独特な手法で分析して新しい歴史を発掘した長谷川敏雄さんは、「こうなんの歴史アルバム」でも同様な手法で、秘められた歴史の物語を紡いでいます。サスペンスのような発見の経緯と、地域デジタルアーカイブの課題について語っていただきます。

[プロフィール]



**長谷川敏雄**  
はせがわとしお  
地図編集工房代表・NPO法人港南歴史協議会理事。  
1949年横浜市生まれ。立正大学地理学科卒業後、長年航空写真測量会社で地図作成に従事。地図史・郷土史等の調査・講演・執筆活動中。港南歴史協議会発行の「こうなんの歴史アルバム」では地図の技術を活かして歴史を発掘する独自のアプローチでいくつかの章を執筆して評判を呼んでいる。

## 2

[基調講演]

### 「市民デジタルアーカイブの動向と意義」

東京都市大学情報メディア学科教授 **中村雅子**さん

インターネットの時代になって、昔の記録を失われないうちに残す、といういわゆる伝統的なアーカイブの観点とともに、日々のニュースの蓄積が未来のアーカイブになるという観点が重要になってきました。都筑区で始まった地域アーカイブの実践から見てきたことを含めて、市民デジタルアーカイブの全国的な動向と意義についてお話していただきます。



**中村雅子**  
なかむらまさこ  
東京都市大学環境情報学部教授。  
主な関心領域は、コミュニティや市民活動とメディア、システムデザインとコミュニティ、学習環境デザイン、情報社会論など。普段は学生と一緒に、地域デジタル・アーカイブやARの街づくりへの活用、さらに中学校やNPOと一緒に子どもの学びのデザインやメディア活動に取り組んでいる。

## 3

[パネルディスカッション]

### 「市民メディアの10年、市民メディア連絡会の10年(仮)」

横浜市民メディア連絡会は、地域を横断して「市民メディア」というテーマで繋がったネットワークです。地域の課題とその解決に向けた活動のスタイルは多様に満ちていてお互いに刺激を与え合い、さまざまなプロジェクトが生まれてきました。各地域で活躍するキーパーソンにお集まりいただきお話を伺います。この10年のそれぞれの成果や変化を共有して、これからの活動のヒントをたくさん持ち帰っていただきたいと思います。

・モデレーター

横浜市民メディア連絡会前代表・桜美林大学准教授 **和田昌樹**

・パネリスト

港北ふるさとテレビ局代表 **伊藤幸晴**さん

NPO法人I Loveつづき代表 **岩室晶子**さん

横浜市民放送局事務局長 **梅香家聡**さん

みんなでつくる市民活動ガイド編集長 **鏑木孝昭**さん

つるみウォッチャー **木村小百合**さん

あおばみん・青葉区民会議広報委員長 **小池由美**さん

東京新聞読者応答室長 **鈴木賀津彦**さん

特定非営利活動法人港南歴史協議会事務局長 **茅野真一**さん

東京都市大学情報メディア学科教授 **中村雅子**さん

横浜市民放送局 **橋本康二**さん

東海大学教授 **水島久光**さん



**和田昌樹**  
わだまさき  
横浜市民メディア連絡会前代表・桜美林大学准教授。  
ダイヤモンドBox、マルチメディアビジネスなどの編集長を歴任後、全国に先駆けたインターネット放送局ポートサイドステーションを設立。「トリエンナーレこども放送局」「みんなで作る横浜写真アルバム」「横浜市民放送局」など多数のプロジェクトを精力的に運営、横浜の市民メディアの牽引役を務めている。



#### [横浜市民メディア連絡会の歩み(抄)]

2002年 9月 市民講座「市民メディアの可能性を探る」企画に参加  
12月 横浜市民メディア連絡会設立  
2003年 2月 第1回シンポジウム「市民メディアはヨコハマを変える。」(以降毎年開催)  
11月 コラボレーションフォーラム横浜/協働のありかた研究会・情報分科会リーダー参加  
2004年 1月 第1回市民メディア全国大会(名古屋)に参加  
5月 ネットデイフォーラム参加  
2005年 3月 関東IT推進NPO協議会幹事に事務局長の原聡一郎が就任  
4月 「災害と市民メディア」シンポジウム  
4月 横浜市「政策と創造のための横浜会議」に「市民デジタルアーカイブ」研究が採択  
5月 愛知万博と横浜トリエンナーレをネットTV中継

2006年 9月 第4回市民メディア全国大会(横浜)を主催  
12月 デジタルアーカイブシンポジウム  
2007年 6月 総務省関東総合通信局長を原聡一郎事務局長が受賞  
10月 ネットデイフォーラム横浜開催  
2008年 9月 全国市民メディア協議会世話人に就任  
2009年 3月 横浜開港150周年の関連事業「みんなで作る横浜写真アルバム」運営協議会に参加  
横浜開港博ヒルサイドで横浜市民放送局開設  
2010年 4月 「メディアカフェ」オープン  
2011年 5月 東日本大震災における、ISPP(情報支援プロボノ・プラットフォーム)現地調査に参加  
12月 「みんなで作る市民活動ガイド」発行(電子ブック)  
2012年 1月 横浜市民放送局が「脱原発世界会議」を公式中継